

平成30年6月10日号 (第185回)

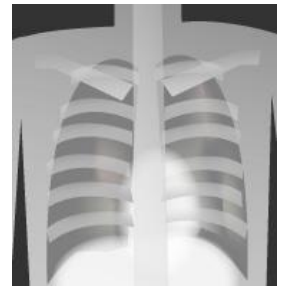
阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

今回の阿伎留通信は、 — 「先生！胸に影があるとされました！」 — をテーマに呼吸器外科 三浦 弘之 医師より、患者さんとの会話形式でお話しさせていただきます。

『癌でしょうか？(>_<)』

胸部X線で陰影を作る疾患はたくさんあります。腫瘍でも、肺癌もあれば良性腫瘍もあります。リウマチなどの自己免疫疾患や肺炎などの感染症でも影を作ります。持病があるか、いつから症状があるか大事ですね。動物を飼っているかも重要なことです。たばこは吸っていましたか？



『動物は飼っていません。孫が遊びに来た頃から咳が止まりません。血圧の薬も飲んでます。たばこは・・・以前1日40本吸っていましたが2年前にやめました。30年吸っていましたね。(-_-)』



喫煙指数は40×30で1200もありますね！600を超えると高度喫煙者となり、肺癌にもかかりやすくなります。肺気腫にもなりますから、やめて良かったですね。咳はつらいですね。どのくらい症状が続いているのか分からないので、お孫さんが遊びにいらしたのは、具体的にいつですか？薬の名前はわかりますか？血液をさらさらにする薬は飲んでますか？

『孫が来たのは先週の金曜日です。お薬手帳を持ってきましたよ。(ˆoˆ)』
咳が始まってからそんなに経っていないのですね。お薬手帳は助かります。あれ！？この薬は血圧の薬ではないですよ。コレステロールを下げる薬ですね。血液をさらさらにする薬ではありますが、血液が止まりにくい薬ではないので検査に支障ありません。糖尿病のお薬で造影CTの時に休薬しなければならぬものもあります。CTで肺癌が疑われます。気管支鏡検査をしましょう。

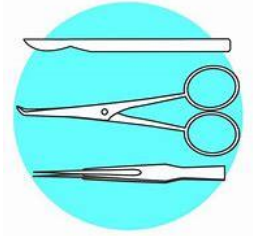


『気管支鏡ってなんですか？痛い検査はいやだなあ。(ˆ_ˆ;)』

気管支にカメラをいれて覗く検査です。痛みはありませんよ。ただし、気管支はちょっと水が入ってもむせますよね？そのむせを取らないと検査ができません。麻酔薬を霧状にして吸っていただきます。この麻酔をサボるとものすごくつらい検査になってしまいます。

『はやく手術してください・・・m(_ _)m』

そもそも癌であるか診断しなければなりません。肺癌が強く疑われて気管支鏡では診断がつきにくい場合には、手術で確定診断をつけることがあります。肺癌にはいろいろな組織型（人種とってください）があるので、何かを分泌している腺、例えば涙を出す涙腺、その腺によく似た腺癌、皮膚などを覆う扁平上皮に似た扁平上皮癌、顔つきの悪い小細胞癌などなど。その組織型により治療法が異なるのです。手術よりも抗癌剤のほうが有効な肺癌もあります。ですので、術前に診断をつけることが望ましいのです。また、転移があった場合、肺だけメスを入れても癌は退治できませんから、転移があるか無いかも見なくてはなりません。肺癌は肺内への転移が最も多く、脳、骨、肝臓などにも転移しやすいので、これらの臓器も検索することが必要となります。さらに手術ができるためには麻酔に耐えられなくてはなりません。術前の検査があります。心臓の機能が良く、肝臓や腎臓の機能も正常で、手術をしても十分な呼吸機能があることが必要です。



『手術できなかつたらどうしよう・・・(T_T)』

治療法が進歩してきたので、腫瘍の遺伝子を調べたり免疫状態を調べたりすることができるようになりました。ALK 遺伝子や ROS1 遺伝子を持っていればこれらをブロックする薬があります。上皮成長因子受容体に変異があればこれに対抗する薬があります。また癌によって機能が発揮できないリンパ球を活性化させる免疫チェックポイント阻害剤もあります。遺伝子の治療中に耐性のある遺伝子が出てくることがありますが、この遺伝子に対する薬もできてきました。もちろん抗癌剤も進歩していますし、放射線もあります。副作用の吐き気を抑える薬も進歩しました。



※ALK 遺伝子、ROS1 遺伝子…近年見つかった、がん細胞を増殖させるタンパク質を作る特殊な遺伝子。

※上皮成長因子受容体…細胞の増殖や維持の調節を行う器官。これに異常があると発癌及び癌の増殖が起こる。

『な～んだ、楽勝ですね♪(^o^)』

ALK 遺伝子をもっている腫瘍は5%、ROS1 遺伝子をもっている腫瘍は2%だけです。上皮成長因子受容体に変異があるのは腺癌では45%ですが、扁平上皮癌ではほとんどありません。



『やっぱりだめだ～(ノ皿)っ。。』

今も刻々と新たな遺伝子に対する治療薬が開発されています。公立阿伎留医療センターも、国立がん研究センター東病院が中心となって行っている、頻度の少ない肺癌の遺伝子検索に参加して研究に貢献しています。頑張って治療していれば、新たな薬がでてきます。専門医がいます。一緒に頑張りましょう！

阿伎留通信については、バックナンバーを公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)